

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : X-CELL

COLOR : TURQUOISE/NAVY/BLACK

WEIGHTBLOCK : NUCLEUS +A.I.CORE

COVER STOCK : E-TRAX -ULTRA SOLID REACTIVE

RG : 2.50 ΔRG : 0.056 ID : 0.019

FACTORYFINISH : 2000 GRIT ABRALON

TRACKFLAREPOTENTIAL : 7+

BACK END : 19 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



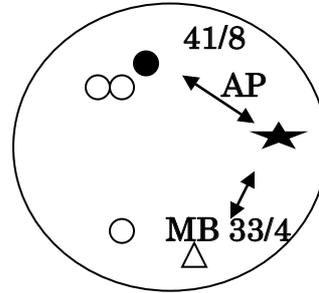
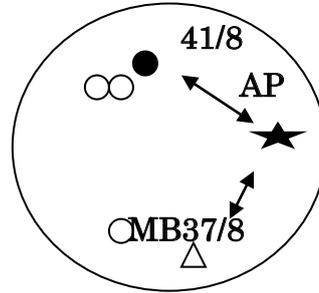
2024年1月23日



レイアウト例

X-CELL

CLONE

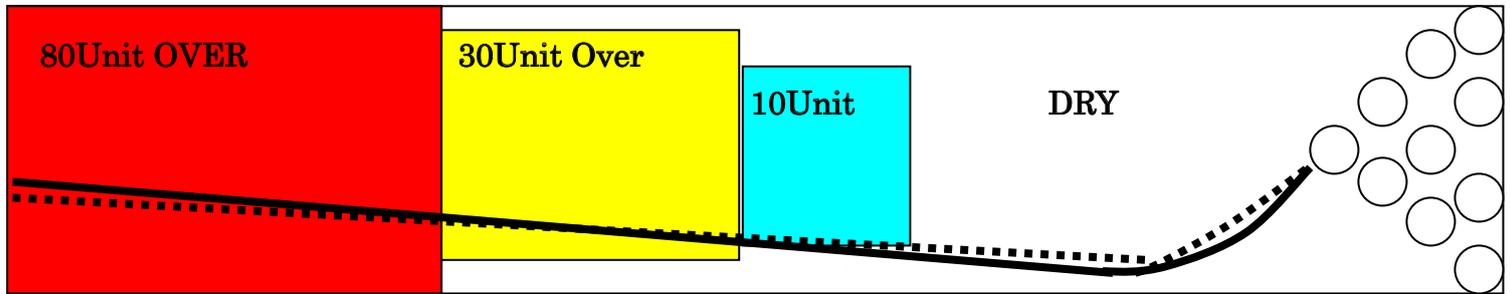


CA52.5度

CA52.5度

フラー幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・



0F

20F

40F

比較品ライン

X-CELL

CLONE

【レーン状況】 コンディションはミディアムオイルがベースですが、レーン手前はスプレーでオイルを増量しています

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

2009年に爆発的にヒットし非対称コアの中でも転がり継続性と一定の軸移動が可能になった事で時代を先取りした NUCLEUS コアが復活！現在のカバーストック素材を被せた事で改めて一定な軸移動は投げ易さの象徴です。A.I.コアになった CELL は今のレーン事情にマッチングしています

【ここがポイント】



凄く懐かしい印象の CELL ですが、この製品がメインの時代に「こんなにレーン手前から転がり続けるボールがあるんだ～」と投げていると感じていた事なのですが、その後 GEM シリーズやコアが非常に強い製品が開発されてきてより一層の転がる事で一定の曲がり力が得られました。現在のレーン事情では手前の状況があまり良くない事からボール開発は中盤からの転がりを目指していました。今回の CELL は正に中盤から継続性の高い事から現代風のカバーストックを武器に生まれ変わりました。アーク状の曲がり方はコントロール性も良くとにかく投げ易いボールでしたね。

2024年6月販売予定 テスト協力：アイビーボウル向島 テスター：石原 章夫プロ

